

「開発と炭素市場」傍聴報告

2012年12月3日

一般社団法人海外環境協力センター (OECC)

本傍聴報告は、2012年11月26日～12月7日にカタール・ドーハで開催された国連気候変動枠組条約第18回締約国会議 (COP18) において開催されたサイドイベントの傍聴報告です。

- タイトル：開発と炭素市場：新たな地域と新興国における環境市場の機会 (Carbon for Development: Opportunities in New Regions and Emerging Environmental Market)
- 日時：2012年12月3日 (月) 20:15 - 21:45
- 主催：マイクライメイト (myclimate)、ゴールドスタンダード事務局 (The Gold Standard Foundation)、リヒテンシュタイン公国政府/CARLO 基金 (Government of Liechtenstein/CARLO Foundation)
- 会場：Side Event Room 6 (Qatar National Convention Centre)
- プレゼンター：Adrian Rimmer (ゴールドスタンダード事務局 CEO)、Sven Braden (リヒテンシュタイン公国政府/CARLO 基金)、René Estermann (マイクライメイト CEO)、Habiba Al Marashi (エミレーツ環境グループ議長/アラブ CSR ネットワーク代表)、Sandrine Le Biavant (Farnek Avireal¹部長)

■ 概要

1. Adrian Rimmer (ゴールドスタンダード事務局 CEO)：「市場をリードするゴールドスタンダード (The Gold Standard Foundation: Leading the market)」
- ゴールドスタンダードプロジェクトの質を担保するために、温室効果ガス (GHG) 排出削減と持続可能な開発への貢献、ローカルコミュニティによる測定、報告、検証 (MRV²) への関与、途上国による適切な緩和行動 (NAMAs³) への応用の可能性などの事項を要求している。例えば、水の浄化に関するプロジェクトでは、GHG 排出削減だけでなく水資源から得られる利益を MRV することで、価格プレミアムを付与している。
2. Sven Braden (リヒテンシュタイン公国政府/CARLO 基金)：「金融商品の格付けと規制措置による質の高いオフセットプロジェクト需要の創出-リヒテンシュタイン政府と CARLO ファンデーションの事例 (Increasing the demand of high quality offset projects through integrated rating products and regulatory measures - Examples from CARLO Foundation and the Liechtenstein Government)」

¹ アラブ首長国連邦 (UAE) に本拠を持つビル等の総合施設マネージメント会社

² Measurement, Reporting and Verification の略

³ Nationally Appropriate Mitigation Action の略

- CARLO 基金は、金融商品の透明性や平等性の格付けを行う非営利組織である。2012年7月にドイツ環境基金やリヒテンシュタイン公国政府などによって設立された。
 - 二酸化炭素貯留や大規模水力発電所からのクレジット発行を禁止するスイスの規制や第70回 CDM 理事会で承認された”voluntary tool for describing sustainable development co-benefits of CDM project activities and PoAs”を参考に規制措置を取る。
3. René Estermann (マイクライメイト CEO) : 「マイクライメイトのカーボンオフセットプロジェクトの持続可能性の恩恵 (Sustainability benefits of worldwide myclimate carbon offset projects)」
- マイクライメイトは、各国でカーボンオフセット事業を展開しているスイスの非営利組織である。
 - 開発途上国では、多くの人々が衣食住、特に水や照明を必要としている。これらの基本ニーズと炭素金融を統合することが重要である。
 - マイクライメイトは、ネパールでのコンポスト処理、インドでのバイオガス利用、ペルーのレンガ工場における省エネなど、多くのプロジェクトを実施している。いくつかのプロジェクトは、ゴールドスタンダードの認証を得ている。
 - 全てのプロジェクトに持続可能な開発の概念を含めることが必要である。
4. Habiba Al Marashi (エミレーツ環境グループ議長/アラブ CSR ネットワーク代表) : 「アラブ諸国における気候変動対策への市民社会・企業の関与 (Climate protection engagements of civil society and companies in Arabic countries)」
- アラブ諸国の気候変動に関する主な課題は、水資源の不足、作物収量の不足、塩害、海岸浸食である。地域単位で水資源管理や食糧安全保障への対策の枠組みを早急に整備しなければいけない。優良事例はまだ少ないが、これらを主流化する必要がある。
 - エミレーツ環境グループは、湾岸地域で市民を巻き込んだ3R推進活動を実施している。また、アラブ首長国連邦(UAE)の民間企業やマイクライメイトなど非営利組織と共同でカーボンオフセットプログラムを展開している。カーボンニュートラルな未来を創るために、地域(多国間)、コミュニティ、市民社会、民間セクター・ビジネスコミュニティの4分野に焦点を置くことが重要である。
5. Sandrine Le Biavant (Farnek Avireal 部長) : 「中東における省エネ・節水プロジェクトの事例 (Energy & Water Efficiency in Middle East - Case Studies)」
- Farnek Avireal は、サステナビリティ・コンサルタントとして、マイクライメイトと共に湾岸地域で省エネ・節水に関するカーボンオフセットプログラムを実施している。省エネ分野では、空調の効率改善を中心に、断熱材、LED 照明、人々の行動変化などに取り組んでいる。



これは会議主催者による公式議事録ではありません。引用はお控えください。
This is not an official report by the meeting organizer. Do not quote.

- 湾岸地域では国内オフセットプログラムのニーズは大きい。ホテルや商業施設のオーナーは、太陽光、バイオ燃料など新しい技術を求めている。
- オフセットプログラムを実施するうえで最も重要な指標は、投資回収期間である。

■ 質疑応答

なし

(報告者：OECC 中尾有伸)

COP18 サイドイベント傍聴報告については以下をご覧ください。

日本語版：http://www.mmechanisms.org/relation/details_oecc_COP18report.html

英語版：http://www.mmechanisms.org/e/relation/details_oecc_COP18report.html